

木造住宅耐震補強事業の申請における注意事項（お願い）

静岡市における木造住宅耐震補強工事の補助制度の利用にあたり、申請の際には、以下の点に注意していただき、円滑に工事を進めて頂ければと思います。よろしくお願いします。

●工事写真について

1. 工事写真の撮り方

- ・写真は施工箇所ごとに**着手前、施工中（補強後）、復旧後**の状況を撮影してください。
- ・写真には、黒板に**工事名称、施工箇所、施工内容、日付**を記入し、被写体とともに撮影してください。（6ページ参照）
なお、黒板が判読できない場合や黒板の撮影が困難な場合は、写真帳のコメント欄に記載してください。
- ・写真は施工箇所が確認できる**全景写真**と、金物・ボード類等の取付け状況が確認できる**拡大した写真**を撮影してください。（柱頭・柱脚金物、筋かい金物はビスの取付け（施工位置、ビスの本数等）が確認できるもの）
- ・金物等を拡大して撮影する場合は、まずその箇所の全景を撮影した後、拡大する部分を撮影して、その施工位置が符号・図等を用いて確認できるようにしてください。なお、複数の補強箇所（柱頭・柱脚金物や筋かい金物等）を、同時に撮影が可能な場合は、1枚の写真にまとめていただいても構いません。

2. 提出写真

※提出する写真は、補助対象となるすべての工事箇所が必要です。

写真の撮り忘れや写真を紛失した場合は、工事が完了していても再度写真の撮影をお願いすることがありますので、ご注意ください。

壁の補強

- ①材料検収
- ②工事着手前
- ③解体後（既存筋かいの有無等）
- ④補強後
 - ・柱頭・柱脚金物の取付け（四隅）
 - ・筋かいの取付け
 - ・筋かい金物の取付け（両端）
 - ・構造用合板、石膏ボード張り等
 - ・新工法（制振装置等）
- ⑤復旧後

屋根の軽量化

- ①工事着手前
- ②屋根葺き材撤去時
- ③葺き替え完了後

基礎の補強

- ①工事着手前
- ②施工中（根入れ、配筋状況等）
- ③基礎完成後

劣化度の改善に係る工事

- ①工事着手前
- ②施工中
- ③改修後

3. 写真帳(写真の整理方法)

- ・写真帳には、撮影方向や部位ごとに記号等を付けて、**施工位置が確認できる平面図**を添付してください。
- ・提出写真は工事着手前から復旧後までの経過が把握できるように、順序よく整理してください。
- ・柱頭・柱脚金物、筋かい金物は、黒板またはコメント欄に上下左右の位置を記載してください。
- ・補強計画において接合仕様をⅠにする場合は、黒板またはコメント欄に金物の名称を記載してください。
- ・筋かい、構造用合板等の施工写真は仕様(規格)を黒板またはコメント欄に記載してください。

4. 施工上の注意点

《工事写真では、主に以下の点を確認しています》



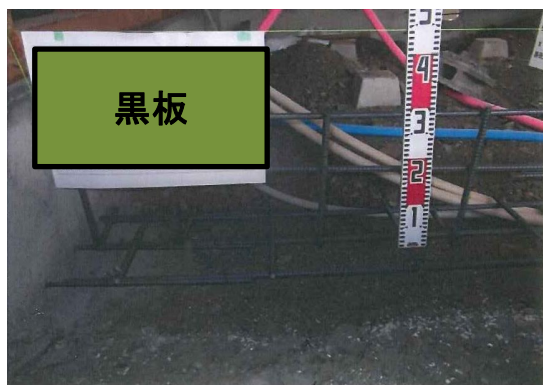
【金物の取り付け】

- ・メーカーの仕様通りに金物が取り付けられているか
- ・ビスの本数は合っているか
- ・背割り部分にビス留めされていないか
- ・金物の取付け位置は正しいか
- ・金物の取付け向きは正しいか
- ・金物が折り曲げられていないか
- ・金物どうしの干渉(ビスの共有、金物の重ね)はないか
(状況に応じて認められないことがあります)



【面材補強】

- ・補強計画通りに施工されているか
- ・JAS、JIS、Zマークの規格品(合板、石膏ボード、釘等)を使用しているか(刻印がされているか)
- ・釘の打つ位置やピッチは適正か



【基礎の補修・補強】

- ・根入れ深さは適正か
- ・鉄筋の配筋は適正か
- ・かぶり厚さはとれているか
- ・既存基礎にアンカーが打たれているか

(注) 以上の点において、適正に施工されていないと判断された箇所については、補強計画書の仕様を落として再計算をお願いする場合がありますので、ご注意ください。

例: 柱頭金物のビスの不足(接合仕様をⅡからⅣにおとす)

●見積書の作成について

1. 補助対象工事内容

耐力壁の設置や基礎の補強など、耐震性能を向上させるために有効な工事が補助対象です。

《工事種別ごとの例示》

工 事 種 別		対象の 是非	適 用
補強のみ	筋かいを外壁に取付け	○	
	方杖を外壁に取付け	○	
	鉄柱を外壁に取付け	○	
	壁に構造用合板・石膏ボード等を取付け	○	
	柱・筋かい等に接合金物を取付け	○	
	基礎のひび割れの改修、RC基礎の新設・増し打ち	○	
増築・リフォーム	増築・改修	筋かい取替え又は取付け工事	耐震評点1.0未満を1.0以上にする工事。ただし、0.3ポイント以上の評点を増加する工事に限る。(確認申請が必要な場合は、建築基準法に適合すること)
		上記に伴う内装(床・壁・天井)又は外壁の撤去・復旧工事	
		一部屋を鉄骨などにより補強する工事	
		窓を壁にして筋かいを取付ける工事	
		屋根を瓦からトタン葺に取替え	
		補強に伴う柱・土台の白蟻・腐り等の補修	
		既存増築部の基礎工事	
		既存増築部構造材(柱・梁・筋かい)	
		耐震性に関連しない工事 例: 畳の取替え・防蟻処理等	
		既存増築部分の内装・外壁・屋根工事	
		設備機器(空調・衛生・照明・配線等)の撤去・移設・復旧工事(補強関連部分のみ)	
		設備機器(空調・衛生・照明・配線等)を新しく取替え	
		模様替え(補強後の復旧に係る部分を除く)	
	仮設、撤去処分、現場復旧工事(補強関連部分のみ)		○
	工事監理費		○
	診断・補強計画費		×
	補助金申請手数料		×

《注意事項》

- ・構造耐力上一体の増築で、既存部分を含め全体を補強できる場合は、基礎や筋かい等軸組に係る構造工事は補助対象です。増築部の屋根葺きや仕上げ等は補助対象外です。
- ・耐震補強工事に関連する部分として、仮設工事費、現場復旧費、廃材撤去費、材料運搬費などは補助対象です。
- ・原則、補強工事箇所の便器・キッチン・浴槽などの設備、サッシ、建具等、再取付けが可能なものを新しく取替える場合は補助対象外です。ただし、耐力壁の設置などにより再取付けができない場合は補助対象とします。(現状より、グレードが上がるようなものについては認められません)
- ・補強工事箇所以外の内外装や建具・サッシなどの工事については、補助対象外です。
- ・補助金申請手数料など、申請の仲介にかかる費用は補助対象外です。

2. 見積書作成時のお願い

- ・見積書の宛名は**申請者名(フルネーム)**としてください。
- ・消費税を加えた後の値引きは行わないでください。
- ・筋かい・構造用合板等は、**規格(寸法・厚さ等)と数量**がわかるように表記してください。
- ・補強工事の変更に伴い工事費が変更になった場合は、変更後の見積書を新たに作成し完了報告時に提出してください。
- ・リフォームや増築を伴う場合は、見積書で耐震補強工事費用とリフォーム(増築)工事費用を明確に分けるか、または見積書を分けてください。(諸経費等についても、金額を分けて計上してください)

●契約書・領収書について

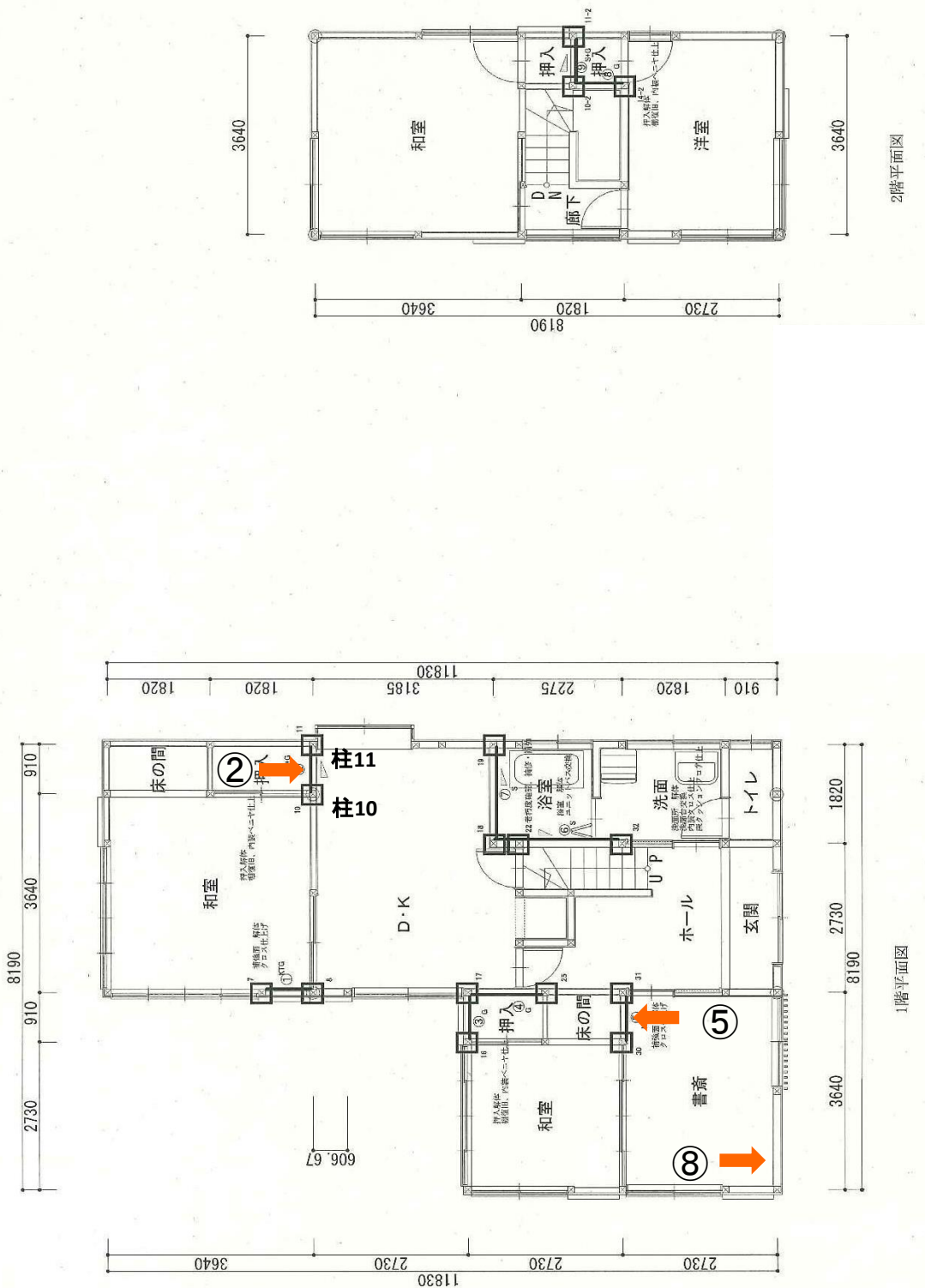
- ・交付決定後に、契約及び工事着手となりますので、契約日と工事着手日にはご注意ください。
- ・契約書及び領収書の宛名は**申請者名(フルネーム)**としてください。
- ・事業着手後に、補強工事費に変更が生じた場合は、見積書、契約書、領収書の金額と整合をとり、再提出をお願いします。(申請者と建築安全推進課へ提出する書類の金額に相違がある場合は、耐震改修後に受けられる所得税の特別控除等が受けられないことがあります)

【問い合わせ先】

静岡市 都市局 建築安全推進課 安全推進係
TEL:054-221-1124 FAX:054-221-1135

写真帳の作成例(参考)

《《施工箇所、撮影方向等を記載した平面図を添付してください》》



補強後平面図 S=1/70

基礎仕様:有筋基礎(センサー使用、確認済)

工事名称	様邸 耐震補強工事			株式会社 〒	TEL: TEL: 建設業：国土交通大臣許可(般-ロ)第 号 一級建築士事務所：静岡県知事登録 第 号	図面名称 補強後 平面図	縮尺 S=1/70



No.1

施工箇所②

着手前

《工事黒板の例》

工事名称: 静岡太郎邸耐震補強工事
 施工箇所: ②
 施工内容: 柱10 柱頭金物取付け
 「ハイパースリム・Ⅱ」
 施工日: 平成〇〇年〇月〇日



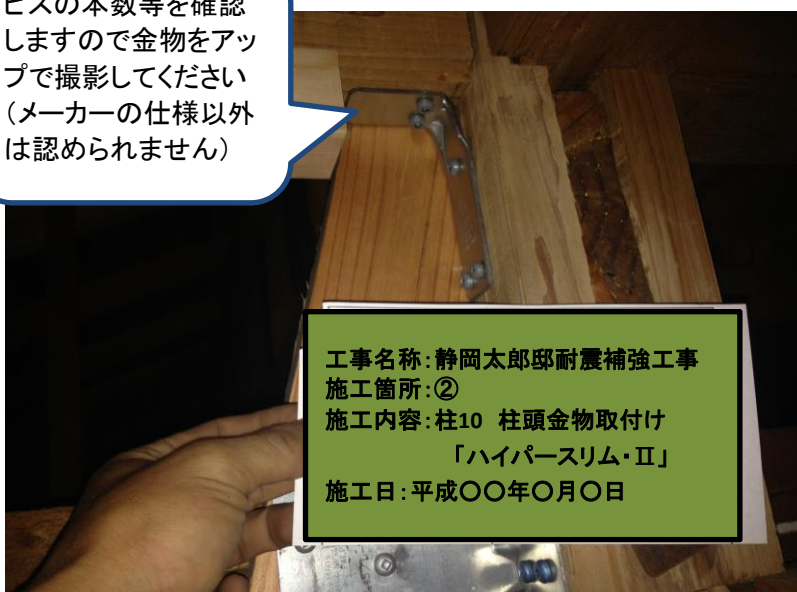
No.2

施工箇所②

解体後

既存筋かいの有無を確認します

ビスの本数等を確認しますので金物をアップで撮影してください
 (メーカーの仕様以外は認められません)



No.3

施工箇所②

柱10 柱頭金物取付け

「ハイパースリム・Ⅱ」

金物の取付け位置が容易にわかるように全景写真を撮影したあとに金物等の拡大写真を撮影してください。

工事名称: 静岡太郎邸耐震補強工事
 施工箇所: ②
 施工内容: 柱10 柱頭金物取付け
 「ハイパースリム・Ⅱ」
 施工日: 平成〇〇年〇月〇日



No.4

施工箇所②

柱10 柱脚金物取付け

「ハイパースリム・Ⅱ」

補強計画で接合仕様
をⅠとしている場合は
金物の名称をコメント
欄に記載してください



No.5

施工箇所②

柱11 柱頭金物取付け

「ハイパースリム・Ⅱ」



No.6

施工箇所②

柱11 柱脚金物取付け

「ハイパースリム・Ⅱ」



黒板

新設筋かいの取付け状況
全体が分かるように撮影し
てください(一枚の写真で納
まらない場合、中間部を挟
んで上下に分けて撮影して
ください)

No.7

施工箇所②

筋かい取付け

90×45シングル



黒板

No.8

施工箇所②

筋かい取付け

90×45シングル



工事名称: 静岡太郎邸耐震補強工事
施工箇所: ②
施工内容: 柱11上部筋交金物取付け
施工日: 平成〇〇年〇月〇日

No.9

施工箇所②

柱11 上部筋かい金物取付け



No.10

施工箇所②

柱10 下部筋かい金物取付け



No.11

施工箇所②

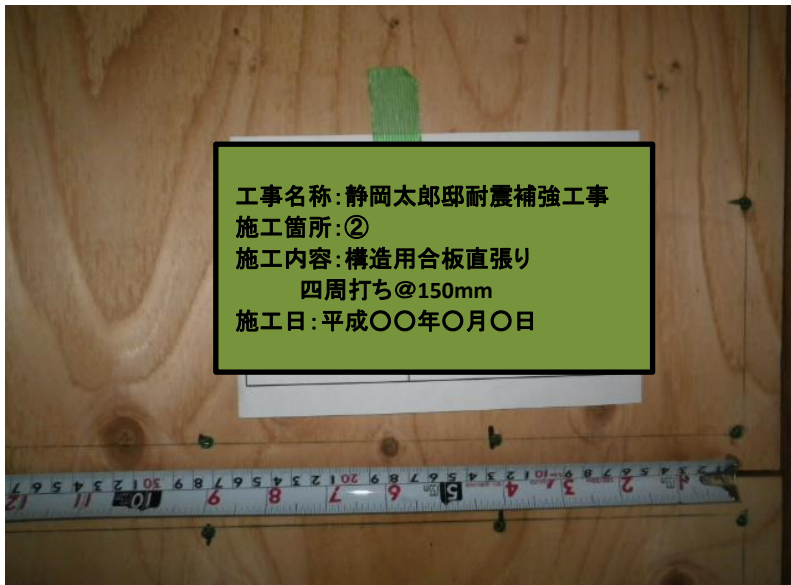
構造用合板直張り



No.12

施工箇所②

構造用合板直張り



No.13

施工箇所②

四周打ち@150mm



No.14

施工箇所②

規格(12mm厚)

マークが確認できるように
アップで撮影してください。



No.15

施工箇所②

復旧後

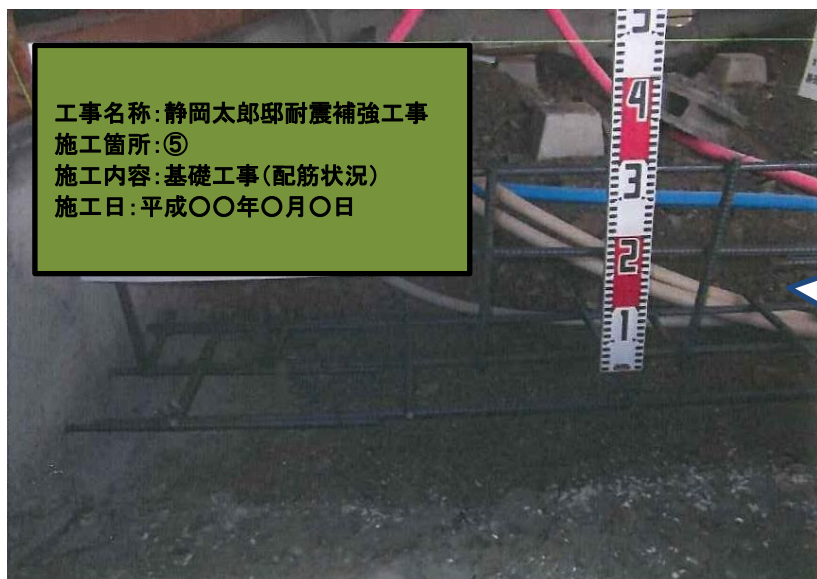
基礎の新設



No16

施工箇所⑤

着手前

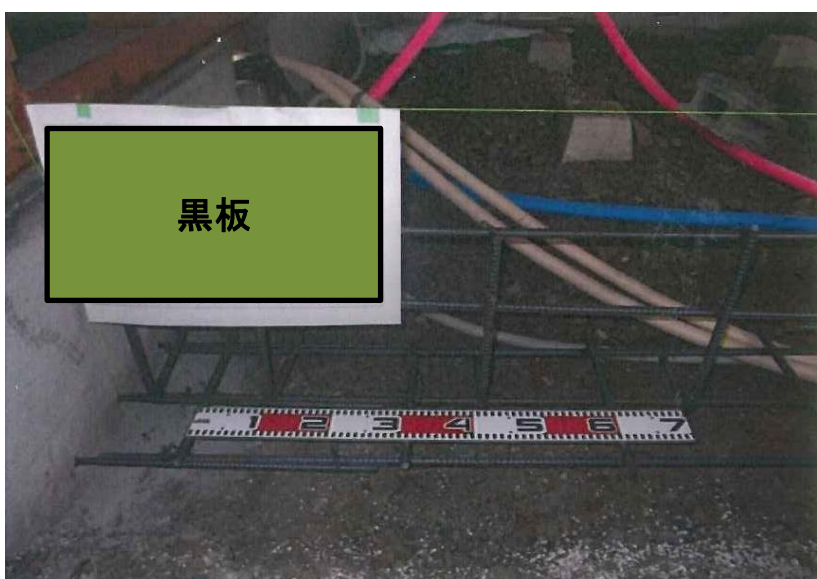


No.17

施工箇所⑤

配筋状況

根入れ深さや鉄筋の配筋
等が適正か確認します。



No.18

施工箇所⑤

配筋状況



No.19

施工箇所⑤

基礎完成後



No.20

施工箇所⑧

着手前



No.21

施工箇所⑧

解体後



No.22

施工箇所⑧

制振装置設置



No.23

施工箇所⑧

制振装置設置

柱脚金物取付け

工事名称: 静岡太郎邸耐震補強工事
 施工箇所: ⑧
 施工内容: 制振装置設置
 柱脚金物取付け
 施工日: 平成〇〇年〇月〇日

柱頭・柱脚金物が取付けられているか確認します。



No.24

施工箇所⑧

制振装置設置

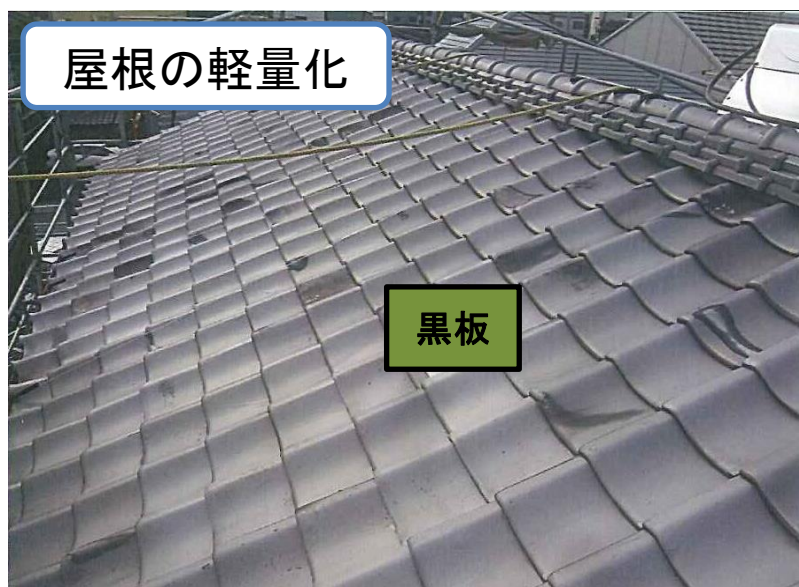
柱頭金物取付け



No.25

施工箇所⑧

復旧後



No.26

屋根の軽量化

着手前



No.27

屋根の軽量化

既存瓦撤去



No.28

屋根の軽量化

復旧後
